

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	体づくり運動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・コーディネーショントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・体づくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動で、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。 ・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。 ・ねらいに応じた行い方などについて話し合いに参加しようとしている。
4 ・ 5 ・ 6	陸上競技 球技	16	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・長距離走 ・リレー ・ソフトボール ・バスケットボール 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 <p>球技</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。 ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
6 ・ 7	水泳	13	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 ・ 9	水泳 球技	10	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・ソフトボール ・バレーボール 	<p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 <p>球技</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。 ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
			<p>1学期 評価方法・評価場面</p> <ul style="list-style-type: none"> A おおむね80%以上 B おおむね50%以上 	<p>実技テスト 個人カード 定期テスト</p>	<p>実技テスト 個人カード</p>	<p>実技テスト 個人カード 授業での活動</p>
9 ・ 10	球技 器械運動	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・マット運動 	<p>球技</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 <p>器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。 ・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10 ・ 11	武道 ダンス	4	・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ○知識 ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。 ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
11 ・ 12	武道 ダンス	4	・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ○知識 ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。 ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	武道 ダンス	4	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<p>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p> <p>・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>
2	武道 ダンス	4	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<p>攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p> <p>・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。</p>

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2.3	球技 陸上競技	10	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・バスケットボール ・走り幅跳び 	<p>球技</p> <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	体づくり運動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・コーディネーショントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・体づくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動で、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。 ・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を選んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。 ・ねらいに応じた行い方などについての話合いに参加しようとしている。
4 ・ 5 ・ 6	陸上競技 球技	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走 ・長距離走 ・リレー ・サッカー ・バレーボール 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めることができる。 ・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。 ○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ペースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。 ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする。仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
6 ・ 7	水泳	13	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8 ・ 9	水泳 球技	10	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・ソフトボール ・バレーボール 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどなどをして、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
			<p>1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
				<ul style="list-style-type: none"> 実技テスト 個人カード 定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 実技テスト 個人カード 授業での活動 	

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9 ・ 10	器械運動	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・マット運動 ・跳び箱運動 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 ・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしてし、健康・安全に気を配ったりしている。 ・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてし、健康・安全に気を配ったりしている。
10 ・ 11	武道 ダンス	4	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス 	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 <p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは、多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてし、健康・安全に気を配ったりしている。 ・ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどをしてし、健康・安全に気を配ったりしている。

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・12	武道 ダンス	4	・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス			
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動
1	武道 ダンス	4	・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方や技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
2	武道 ダンス	4	・柔道 ・現代的なリズムのダンス ・創作ダンス	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方や技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
2.3	球技	10	・ソフトボール ・バスケットボール	○知識 ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、仲間の学習を援助しようとするなどをしてしたり、健康・安全に気を配ったりしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	体づくり運動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 ・コーディネーショントレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動を計画して行う際は、どのようなねらいをもつ運動か、偏りがないか、自分に合っているかなどの運動の原則があることについて、言ったり書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。 ・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。 ・課題を解決するために仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。 ・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとしている。 ・一人一人に応じた動きなどの違いを大切にしようとしている。 ・自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。 ・健康・安全を確保している。
4 ・ 5 ・ 6	陸上競技 球技 ダンス	16	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・ハードル走 ・リレー ・ソフトボール ・バスケットボール ・現代的なリズムのダンス、創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ○知識 ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。 ○知識 ・球技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 ○知識 ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 ○技能 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、健康・安全を確保すること。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようすること、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようしたり、健康・安全を確保したりしている。 ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。

教科の目的

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6 ・ 7	水泳	13	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ	○知識 ・水泳の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど健康・安全を確保している。
8 ・ 9	水泳 球技	10	・ソフトボール ・バスケットボール	○知識 ・球技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようとし、健康・安全を確保したりしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動
9 ・ 10	球技	14	・バレーボール ・ソフトボール	○知識 ・球技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようとし、健康・安全を確保したりしている。
10 ・ 11	武道	8	・柔道	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的に技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・12	武道	4	・柔道	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動
1	武道	4	・柔道	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
2	武道 ダンス	4	・柔道	○知識 ・武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ○技能 ・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしたり、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。
2.3	球技 陸上競技 新体カテスト	10	サッカー バスケットボール 走り幅跳び	○知識 ・球技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどをしてしようしたり、健康・安全を確保したりしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	実技テスト 個人カード 定期テスト	実技テスト 個人カード	実技テスト 個人カード 授業での活動

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	健康な生活と病気の予防	1	健康の成り立ち	健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること、疾病は、主体の要因と環境の要因が関わり合って発生することを理解している。	健康の成り立ちについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	健康の成り立ちについての学習に自主的に取り組もうとしている。
4 ・ 5 ・ 6	健康な生活と病気の予防	2	運動と健康 食生活と健康	運動には、体の各器官のはたらきを刺激し発達を促す効果や、気分転換かてぎること、体力か向上することなどの効果があることを理解している。また、健康の保持増進には、適切に運動を続ける必要があることを理解している。 毎日の食生活は健康に深く関わっていること、また、毎日適切な時間に食事をすること、年齢や運動量によって栄養素のバランスや食事の量に配慮することか必要であることを理解している。	運動と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 毎日の食生活は健康に深く関わっていること、また、毎日適切な時間に食事をすること、年齢や運動量によって栄養素のバランスや食事の量に配慮することが必要であることを理解している。	運動と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 食生活と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。
6 ・ 7	健康な生活と病気の予防	2	休養・睡眠と健康 調和のとれた生活	休養や睡眠には、心身の疲労を回復し、健康な状態を維持する効果があること、また、健康の保持増進には、適切に休養・睡眠をとる必要があることを理解している。 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解している。	休養・睡眠と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 調和のとれた生活について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	休養・睡眠と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 調和のとれた生活についての学習に自主的に取り組もうとしている。
8 ・ 9	心身の発達と心の健康	2	体の発育・発達 呼吸器官・循環器官の発達	体の発育・発達には、各器官が急速に発育し、機能が発達する時期があること、体の発育・発達の時期や程度には、個人差があることを理解している 呼吸器官・循環器官が発育・発達すると、1回の呼吸で交換できる酸素と二酸化炭素の量が増えたり、心臓の収縮する力が強くなったりすること、中学生の時期は適度な運動を行うことによって呼吸器官・循環器官がよりよく発達することを理解している。	体の発育・発達と個人差について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 呼吸器官・循環器官の発育・発達のかたや中学生の時期の生活のかたについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	体の発育・発達と個人差についての学習に自主的に取り組もうとしている 呼吸器官・循環器官の発育・発達のかたや中学生の時期の生活のかたについての学習に自主的に取り組もうとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動
9 ・ 10	心身の発達と心の健康	1	生殖機能の成熟	思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンのはたらきにより生殖器官の発育とともに生殖機能が発達することを理解している。 思春期になると、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること、思春期は、生命を生み出すこと	生殖に関わる機能の成熟について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 生殖に関わる機能の成熟について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	呼吸器官・循環器官の発育・発達のかたや中学生の時期の生活のかたについての学習に自主的に取り組もうとしている。 生殖に関わる機能の成熟についての学習に自主的に取り組もうとしている。
10 ・ 11	心身の発達と心の健康	1	性とどう向き合うか	思春期には、体の変化にともない、個人差はあるが、性衝動が生じたり、性への関心が高まったりすることがあること、そのため、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解している。	思春期の心の変化や異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	思春期の心の変化や異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択についての学習に自主的に取り組もうとしている。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・12	心身の発達と心の健康	3	心の発達 自己形成	知的機能、情意機能は生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達することを理解している。 中学生の時期は社会性が発達すること、自己を認識し、自分なりの価値観を身に付けていくなどの自己形成がなされることを理解している。	心のはたらきや発達のしかたについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 人との関わりと自己形成について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	心のはたらきや発達のしかたについての学習に自主的に取り組もうとしている。 人との関わりと自己形成についての学習に自主的に取り組もうとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動
1	心身の発達と心の健康	3	欲求不満やストレスへの対処	欲求には、生理的な欲求と心理的、社会的な欲求があること、心の健康を保つには、欲求に適切に対処することが必要であることを理解している。 心の健康を保つには、ストレスに適切に対処することが必要であることを理解している。また、リラクゼーションなど、ストレスによる心身の負担を軽減するような対処の方法を身に付けている。 心と体には、互いに影響を与え合っていること、心の状態が体にあらわれたり、体の状態が心にあらわれたりするのは、神経などのはたらきによることを理解している。	欲求への適切な対処と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ストレスへの適切な対処と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 心と体の関わりについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	欲求への適切な対処と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ストレスへの適切な対処と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 心と体の関わりについての学習に自主的に取り組もうとしている。
2	体育理論	1	運動やスポーツの必要性和楽しさ	運動やスポーツは、体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性や、競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解している。	運動やスポーツの必要性和楽しさについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツへの多様な関わり方についての学習に積極的に取り組もうとしている。
2.3	体育理論	2	運動やスポーツへの多様な関わり方 運動やスポーツ多様な楽しみ方	運動やスポーツには、行うこと、見ること、支えることおよび知ることなどの多様な関わり方があることを理解している。 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには、自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを理解している。	運動やスポーツへの多様な関わり方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 運動やスポーツの多様な楽しみ方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツへの多様な関わり方についての学習に積極的に取り組もうとしている。 運動やスポーツの多様な楽しみ方についての学習に積極的に取り組もうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	健康な生活と病気の予防	1	生活習慣病の予防	生活習慣病は、日常生活習慣が主な要因となって起こること、また、生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、喫煙や過度の飲酒をしない、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることによって予防できることを理解している。	生活習慣病とその予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	生活習慣病とその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。
4 ・ 5 ・ 6	健康な生活と病気の予防	2	がんの予防 喫煙と健康	がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する病気であり、その要因には様々なものがあること、がんの予防には、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解している。 たばこの煙の中の有害物質により、喫煙すると毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な病気を起こしやすくなることを理解している。また、未成年者の喫煙は、体に大きな影響を及ぼし、	がんとその予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 喫煙と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	がんとその予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 喫煙と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。
6 ・ 7	健康な生活と病気の予防	2	飲酒と健康 薬物乱用と健康	飲酒をすると、エチルアルコールによって思考力、自制力、運動機能が低下したり、事故などを起こしたりすること、急激に大量の飲酒をすると、急性中毒で死に至ることもあることを理解している。また、常習的な飲酒により、肝臓病や脳の病気など様々な病気を起こしやすくなること、未成年者の飲酒は、体に大きな影響をおよぼし、依存症になりやすいことを理解している。 薬物を乱用すると激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きること、家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることを理解する。	飲酒と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 薬物乱用と健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	飲酒と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。 薬物乱用と健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。
8 ・ 9	健康な生活と病気の予防	1	喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ	喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、好奇心、なぜやりに気持、過度のストレスなどの心理状態、断りにくい人間関係、宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること、それらに適切に対処する必要があることを理解している。	喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけについての学習に自主的に取り組もうとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動
9 ・ 10	傷害の防止	3	傷害の発生要因と防止 交通事故の現状と原因 交通事故の防止	多くの傷害は、心身の状態や行動のしかたなどの人的要因と、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などの環境要因が関わり合って発生することを理解している。 交通事故による傷害を防止するには、車両の特性を知り、交通法規を守り、心身の状態を把握し、車両、道路、気象条件などの周囲の状況に応じて、安全に行動することが必要であることを理解している。	傷害の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 交通事故の発生要因とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。	傷害の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。 交通事故の発生要因とその防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10 ・ 11	傷害の防止	2	<p>犯罪被害の防止</p> <p>自然災害に備えて</p>	<p>犯罪被害の要因は、人的要因や環境要因などが関わり合っており、人的要因に対しては、危険を予測し、判断して、犯罪を避ける行動をとること。環境要因に対しては、周囲の人の関心を高めることなどの対策があることについて理解している。</p> <p>自然災害による傷害には地震、台風、大雨、竜巻、火山の噴火、落雷、大雪などによるものと、それに伴って発生する二次災害によるものがあること、日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、災害情報を正確に把握すること、災害時には周囲の状況を的確に判断し、冷静かつ迅速に行動する必要があることを理解している。</p>	<p>犯罪被害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</p> <p>自然災害による傷害とその防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。</p>	<p>犯罪被害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>自然災害による傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・12	傷害の防止	2	応急手当の意義と基本	<p>傷害が発生した際に、その場に居合わせた人が応急手当をすることで、傷害の悪化を防止できること、心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当としては、心肺蘇生法があることを理解している。</p> <p>気道確保・人工呼吸・胸骨圧迫、AEDなどの心肺蘇生法を身に付けている。</p>	<p>応急手当の意義や目的、手順について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>反応がないときの応急手当の方法について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>応急手当の意義や目的、手順についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>反応がないときの応急手当の方法についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動
1	傷害の防止	1	<p>出血があるときの応急手当</p> <p>外傷の応急手当</p>	<p>出血があるときの応急手当の基本や方法について理解し、正しい応急手当の方法を身に付けている。</p> <p>打撲傷などの外傷の応急手当の基本や方法について理解し、正しい応急手当の方法を身に付けている。</p>	<p>出血があるときの応急手当について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>外傷の応急手当の方法について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>出血があるときの応急手当についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>外傷の応急手当の方法についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
2	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方		運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果	運動やスポーツは、体の発達やその機能の維持、体力の向上などの効果や自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果およびルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できることを理解している。	運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果についての学習に積極的に取り組もうとしている
2.3	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方		<p>運動やスポーツの学び方</p> <p>安全な運動やスポーツの行い方</p>	<p>運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための一定の方法があることを理解している。</p> <p>運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、健康・安全に留意する必要があることを理解している。</p>	<p>運動やスポーツの学び方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>安全な運動やスポーツの行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p>	<p>運動やスポーツの学び方についての学習に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>安全な運動やスポーツの行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。</p>
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動

教科の目的

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	健康な生活と病気の予防		感染症は、病原体に感染することによって起こる病気であり、病原体の感染には、自然環境と社会環境、主体の条件が関係することを理解している。	感染症の原因について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	感染症の原因についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
4 ・ 5 ・ 6	健康な生活と病気の予防		感染症を予防するには、発生源をなくす、感染経路を遮断する、予防接種で免疫を付けるなど体の抵抗力を高めることが有効であることを理解している。また、感染症にかかった場合は、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることを理解している。 性感染症は、感染経路が性的接触で、感染者の粘液などに含まれる病原体に感染する病気であること、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを理解している。	感染症の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 性感染症の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	感染症の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 性感染症の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
6 ・ 7	健康な生活と病気の予防		エイズはHIVが引き起こす免疫の病気で、その感染経路には性的接触による感染、血液を介しての接触、母子感染があり、性的接触をしないことが予防として有効であることを理解している。	エイズの予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	エイズの予防についての学習に自主的に取り組もうとしている	
8 ・ 9	健康な生活と病気の予防		健康を守る社会の取り組み 医療機関の利用と医薬品の使用 健康の保持増進や病気の予防には、個人が行う取り組みとともに、社会の取り組みが有効であり、地域の保健所、保健センターなどでは住民の健康診断や健康相談などが行われていることを理解している。 医薬品には、主作用と副作用があること、医薬品は正しく使用する必要があることについて理解している。また、心身の状態が不調である場合は、できるだけ早く医療機関で受診することが重要であることを理解している。	個人の健康を守る社会の取り組みについて、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 医薬品の有効利用について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	個人の健康を守る社会の取り組みについての学習に自主的に取り組もうとしている。 医薬品の有効利用についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動
9 ・ 10	健康と環境		環境の変化と適応能力 活動に適した環境 体には環境に対する適応能力があること、環境の変化が適応能力の限界を超えると健康に重大な影響が出ることから、気象情報の適切な利用が有効であることを理解している。 快適で能率のよい生活を送るための温熱条件や明るさには至適範囲があり、その範囲は学習や作業などの種類によって異なることを理解している。	環境への適応能力について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 温熱条件や明るさの至適範囲について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している	環境への適応能力についての学習に自主的に取り組もうとしている。 温熱条件や明るさの至適範囲についての学習に自主的に取り組もうとしている。	

教科の目的

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10 ・ 11	健康と環境		<p>室内の空気の条件</p> <p>水の役割と飲料水の確保</p> <p>生活排水の処理</p>	<p>室内の二酸化炭素は、呼吸などにより増加し、空気の汚れの指標となること、定期的な換気は室内の二酸化炭素の濃度を衛生的に管理できることを理解している。また、一酸化炭素は、人体に有害であることを理解している。</p> <p>水は生命の維持や健康にとって重要であること、飲料水には水質基準があり、浄水場で浄化し検査していることを理解している。</p> <p>人間の生活に伴って生じた廃棄物は、その種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。</p>	<p>空気の汚れと換気について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>健康や生活における水の役割や飲料水の条件について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p> <p>生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>空気の汚れと換気についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>健康や生活における水の役割や飲料水の条件についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
11 ・ 12	健康と環境		<p>ごみの処理</p>	<p>人間の生活に伴って生じた廃棄物は、その種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。</p>	<p>生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>生活に伴って生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>
			<p>2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上</p>	<p>小テスト 資料ノートの活用 定期テスト</p>	<p>小テスト 資料ノートの活用 定期テスト</p>	<p>小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動</p>
1	健康と環境		<p>環境の汚染と保全</p>	<p>大気汚染や水質汚濁など、自然環境が汚染されることにより、健康に悪影響をおよぼすことがあることを理解している。また、ごみの減量や分別などの個人の取り組みを、一人ひとりが実践していくことが大切であることを理解している。</p>	<p>環境汚染の健康への影響とその対策について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。</p>	<p>環境汚染の健康への影響とその対策についての学習に自主的に取り組もうとしている</p>
2			<p>スポーツの文化的意義</p>	<p>スポーツは、文化的な生活を営み、よりよく生きていくために重要であることを理解している。</p>	<p>スポーツの文化的意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えるしている。</p>	<p>国際的なスポーツ大会の文化的な役割についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

教科の目的

- 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2.3			国際的なスポーツ大会の文化的な役割 人々を結び付けるスポーツ オリンピックやパラリンピックおよび国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解している。 スポーツは、民族や国、人種や性、障がいの違いなどをこえて人々を結び付けていることを理解している。	国際的なスポーツ大会の文化的な役割について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 人々を結び付けるスポーツについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	国際的なスポーツ大会の文化的な役割についての学習に自主的に取り組もうとしている。 人々を結び付けるスポーツについての学習に自主的に取り組もうとしている。	
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト	小テスト 資料ノートの活用 定期テスト 授業での活動